

松本楼の歴史的意義

北京師範大学学生代表

見学日時：2024年12月3日（火）11:15-13:00

見学場所：日比谷松本楼

見学概要

12月3日の昼、私たちの乗ったバスは日比谷公園に到着し、その後私たち一行は公園内を歩き松本楼に向かった。途中、日比谷公園内の静けさや景色に魅了されるなど、歴史と自然が交わる佇まいを感じることができた。





松本楼に到着し真っ先に目に入ったのは古風で優美な西洋建築で、その重厚な壁面と古典的な屋根のスタイルは100年の歴史を持つ建築物としての風情を醸し出していた。内部に足を踏み入ると濃厚な歴史の息吹が感じられた。入口には宋慶齡女史がかつて弾いていたピアノが展示され、周囲の壁には、孫中山氏と梅屋庄吉夫婦の貴重な集合写真の他、梅屋庄吉氏が当時受領した革命軍の委任状及び胡錦濤総書記（当時）が松本楼を見学した際の写真等日中友好交流にまつわる歴史的人物の写真や文物が飾られていた。これらの展示品は当時の歴史を私たちの目の前に鮮やかに示すもので、当時の激動の時代にタイムスリップしたかのようなようだった。



次いで私たちは松本楼2階の洋風宴会場での食事となった。宴会場はレイアウトが優美且つ荘厳で西洋の風情に満ちていた。私たちはそこでこのクリームスープ、ポテトサラダ、カレーライスそして食後のマロンケーキ、オレンジジュース、コーヒーといった美味しいランチを堪能した。各料理共に味がきめ細かくまた多彩で、松本楼が長年受け継いできた食文化の伝統が感じられた。また食事の前には曾広明団員による解説と当時の歴史に関する映像により、松本楼の中国革命との関係そして革命における梅屋庄吉氏の多大な貢献について知見を深めることができた。



食後、私たちは1階に戻り宋慶齡女史が当時弾いていたピアノや当時の歴史にまつわる写真などを間近で鑑賞した。これらの文物は当時の特殊な時代に立ち会ったのみならず、私たちはこれらの文物により松本楼が受け継いでいる深い歴史的根底を感じることができた。

ご存じですか？

梅屋庄吉氏は孫中山氏と出会ってすぐに旧友のように打ち解け、「君は兵を挙げたまえ、我は財を挙げて支援す」との盟約を結んだ。梅屋庄吉氏は中国革命においてどれほどの資金を投じたのか？

見学の際、私たちは梅屋庄吉氏による中国革命への支援について討論し、梅屋庄吉氏による「君は兵を挙げたまえ、我は財を挙げて支援す」との義挙に私たちは彼の中国革命への熱意と貢献を強く感じた。

松本楼から提供された史料に関する小冊子を通じて、梅屋庄吉氏が中国革命事業に投じた資金は2兆円（約1300億人民元）にのぼることを私たちは知った。この天文学的数字は梅屋庄吉氏の中国革命への多大な貢献を如実に示すもので、彼の私心のない援助は無数の中国革命の志士を助け、アジアの解放事業に歴史的貢献を果たした。

感想

松本楼の見学において最も印象的だったのは梅屋庄吉氏による中国革命への支援であった。彼の惜しみない資金援助からその揺るぎない支援の姿勢まで、いずれの点からも日中両国間の歴史的関係について改めて強く考えさせられた。梅屋庄吉氏は日本の実業家で、彼の援助は物質面のみならず、中国革命に対する真摯な支援にも示されていた。彼の援助は中国革命に必要な物質的保障を提供しただけでなく、日中両国の人々の友情の礎をも築いた。

梅屋庄吉氏の行動からは国の垣根を越えた感情のつながりを感じることができた。戦乱と変革に満ちたあの時代において梅屋庄吉氏は個人の力で中国革命を支えた。こうした個人の損得を度外視した、他国の困難を解決するとの精神は正に日中友好の中核部分だと言える。

また特に印象的だったのは、孫中山氏が亡くなった後に梅屋庄吉夫婦が示した深い哀悼で、孫中山氏が亡くなったことを知った梅屋庄吉夫婦はとて悲しみ、葬儀に参加したのみならず、さらには自身の財産を投げ孫中山氏の銅像を制作し中国各地に寄贈した。その中で最も代表的なのは南京にある孫中山氏の銅像である。これらの銅像は日中両国の歴史的交流の象徴であり、梅屋庄吉氏の孫中山氏への深い友情を示しているのみならず、彼の中国革命事業への揺るぎない支援をも示している。またこれは孫中山氏個人への尊敬のみならず、それ以上に歴史的責任感の一種の表れでもある。梅屋庄吉氏はかつて、「孫中山氏は中華民族の英雄であるのみならず、アジアひいては世界の歴史における偉大な人物である」と述べている。梅屋庄吉夫婦はこうした寄贈の行為を個人としての名声とはせず、一種の歴史的責任そして文化的使命として捉え、こうした行為により中国革命への揺るぎない信念やたゆまぬ支

援を世界に向けて示すと共に、日中両国の人々が歴史の重みと国の垣根を越えた友情を感じられるよう努めた。

現代に生きる者として私たちはこうした歴史をしっかりと心に刻むと共に、こうした歴史から力を吸収し、これまで以上に友好的で平和的な国際社会の構築に微力を尽くす必要がある。

今回の見学では松本楼についての知見が深まった他、梅屋庄吉氏そして同氏による中国革命への支援に対し強い敬意が生まれた。歴史は懸け橋であり、時間や空間の垣根を越えて私たちに当時の思いや責任を感じさせた。こうした歴史教育や文化交流は、日中両国の友情そして世界の平和的発展に無尽蔵の原動力をもたらすと確信している。